

線区別収支
(平均通過人員が2,000人/日未満の線区)

線名	区間	営業キロ (km)	2020年度収支(百万円)			【参考】平均通過人員(人/日)		
			営業収益	営業費	営業損益	1987年度	2020年度	減少率
日豊本線	佐伯～延岡	58.4	180	967	▲787	3,428	353	▲90%
	都城～国分	42.2	191	627	▲436	2,029	728	▲64%
筑肥線	伊万里～唐津	33.1	26	178	▲152	728	180	▲75%
宮崎空港線	田吉～宮崎空港	1.4	32	78	▲47	—	627	—
筑豊本線	桂川～原田	20.8	22	136	▲114	2,981	297	▲90%
日田彦山線	城野～田川後藤寺	30.0	199	716	▲517	3,287	1,694(2,595) ^{※1}	▲48%
	田川後藤寺～夜明	38.7	—	—	—	1,103	— (299) ^{※1}	—
後藤寺線	新飯塚～田川後藤寺	13.3	47	217	▲170	1,728	890	▲48%
久大本線	久留米～日田	47.6	339	1,122	▲783	3,040	1,677(3,475) ^{※2}	▲45%
	日田～由布院	51.5	—	—	—	2,564	— (1,756) ^{※2}	—
唐津線	久保田～唐津	40.3	217	531	▲314	3,649	1,704	▲53%
	唐津～西唐津	2.2	30	170	▲141	1,315	766	▲42%
豊肥本線	肥後大津～宮地	30.8	—	—	—	2,711	— (1,854) ^{※3}	—
	宮地～豊後竹田	34.6	38	381	▲343	1,028	109(463) ^{※3}	▲89%
	豊後竹田～三重町	23.9	71	268	▲196	2,384	853(1,331) ^{※3}	▲64%
肥薩線	八代～人吉	51.8	—	—	—	2,171	— (414) ^{※4}	—
	人吉～吉松	35.0	—	—	—	569	— (106) ^{※4}	—
	吉松～隼人	37.4	46	340	▲294	1,109	480(605) ^{※4}	▲57%
三角線	宇土～三角	25.6	82	365	▲284	2,415	775	▲68%
吉都線	吉松～都城	61.6	63	403	▲340	1,518	408	▲73%
指宿枕崎線	喜入～指宿	19.1	116	364	▲248	3,687	1,661	▲55%
	指宿～枕崎	42.1	28	550	▲522	942	255	▲73%
日南線	田吉～油津	44.0	128	697	▲569	2,129	934	▲56%
	油津～志布志	42.9	23	421	▲398	669	171	▲74%

- 四捨五入の関係で、「営業収益-営業費」と「営業損益」が一致しない場合があります。
- 営業費は当該線区の鉄道事業にかかる費用のみを計上しています。なお、本社・支社にかかる費用、指令所等にかかる費用は計上していません。
- 平均通過人員は、ご利用されるお客さまの1kmあたりの人数を表し、当社が国土交通省に毎年報告する鉄道事業実績報告書に基づき、以下の計算により算出しています。
【平均通過人員】＝【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】÷【当該路線の年度内営業キロ】÷【年度内営業日数】
- 線名・区間・営業キロは2020年度末現在の情報を基に算出しています。
- 1987年度の平均通過人員は1987年度当時の営業キロを基に算出しています。
- 災害の影響で運休期間がある線区の扱いは以下のとおりです。運休区間を含む線区では収支及び平均通過人員を算出していません(「—」と表示)。
- ※1：日田彦山線(添田～夜明)に平成29年九州北部豪雨に伴い運休が発生しているため、参考値として、カッコ内に2016年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。
- ※2：久大本線(日田～向之原)に令和2年7月豪雨に伴い運休が発生していたため、参考値として、カッコ内に2019年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。
- ※3：豊肥本線(肥後大津～阿蘇)に平成28年熊本地震に伴い運休が発生していたため、参考値として、カッコ内に2015年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。
- ※4：肥薩線(八代～吉松)に令和2年7月豪雨に伴い運休が発生しているため、参考値として、カッコ内に2019年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。